

各チームの主たる指導者と保護者会の皆様へ

横浜市ミニバスケットボール連盟

理事長 星 雅博

今季の異常な暑さにおけるチーム活動について

日頃から大変お世話になっております。

つい先日、山形県で部活動後の帰宅途中で、中学生が熱中症で倒れ、そのまま帰らぬ人になってしまうという痛ましい事故がありました。この件は対岸の火事だと思っはけません。

横浜市ミニバスケットボール連盟としては、6月中旬に「夏季における大会実施と熱中症対策」というガイドラインを配信しましたが。上記を踏まえ、あらたに「熱中症対策ガイドライン 夏季における大会実施とチーム活動 令和5年8月改訂版」として再配信させていただきます。あらたに追加された内容は大会の時だけではなく、チームの活動中（練習等）も適用していただきたいということです。

特に意識してもらいたいのは

- ① 施設内に WBGT 測定器の設置し、またその数値を参考とした行動をとる
- ② WBGT の値が 31 を超えた場合は原則活動を休止、または中止とする
- ③ 例年よりもこまめな給水と休憩をとる

何よりも最優先されるのは目先の勝利ではなく、子どもたちの生命と体調を我々が守ることです。

ミニバスケットボールに携わる全ての関係者の方々のご理解とご協力をお願いいたします。